



白川校区に接する白川は、現在、河川工事の真っ最中。より確実な水害防止のための対策は、校区にとっても安心なまちづくりの必須事項だ

白川のほとりに残る 由緒ある地名

白川

校区は熊本市のほぼ中央に位置し、白川の左岸に沿って住宅地と商業・事業所ビルが混在する地区です。校区を横断するように熊本市電が走り、市電線路の北側には住宅が多く、南側には商業ビルが数多く建ち並んでいます。校区内や隣接した地区には、熊本大学医学部をはじめ、熊本学園大学、尚絅大学のほか、県立高校、私立高校などが数多く立地しています。

白川小学校のあるあたりから白川沿いの北側一帯は、「新屋敷」と呼ばれる地区です。新屋敷の町名は、江戸時代末から明治初年にかけて武士の屋敷が数多く建ち並んだことから名付けられたとされています。現在も由緒ある町名にふさわしく、落ち着いた雰囲気のある街並みが残さ



青い光が守る 世代を超えたつながりづくり

静かな通りに住宅が並ぶ新屋敷地区。古くからの屋敷も多く、落ち着いた街並みが人気のエリア



「安全安心実現のための連携モデル地域」指定で導入された青色パトロール車。地区の巡回活動で、安全性が高まった

交番との連携で 住民の心が一つに

「あなた

の隣に暮らす人はだれですか」。どんな人が暮らしているかご存じですか。人と人のつながりを大切にすることで、本当に安心して暮らせるまちになります」と語るのは、前校区自治協議会長で、第1町内自治会の緒方正総会長です。

校区内の自治会活動でも中心的な役割を果たしてきた緒方正さんは、「校区体育祭、ふれあいまちつき大会など、地域の交流の場を通じて、子どもたち、保護者、地域住民の人たちが、お互いに顔見知りとなることが、安全安心なまちづくりのために必要」と言います。中心市街地に近い白川校区も、以前は防犯上の多くの課題を抱えていました。「昔の白川河川敷は、背丈ほども草が生い茂